

多摩陽光台自治会【新websiteの構築】

■多摩陽光台自治会とは

1994年に開発された区画230に居住する戸建て住宅団地にあり、約170所帯が加入している自治会です。

<プロボノ参加メンバー>

自治会幹部のうちの3名

<活動>

1, クラブ

①里山隊

②シニアストレッチ

③ポールウォーキング等5クラブ

2, サークル

①IT

②ガーデニング

③天文台クラブ

④囲碁クラブ

⑤カラオケサークル等14サークル

<その他>

上記の通り、活発な活動があったものの、高齢化などによる住民同士の情報交換としても役立ててきた会報の発行回数や配布への危機感もあります。



多摩陽光台自治会【新websiteの構築】

■ 団体ニーズ

今まで自治会HPの運用を行っていた方が退会し、運用ができなくなり、新HPやフェイスブック等で自治会内の情報共有ツールとしていきたい。

■ 活動期間と態勢

活動期間：〈ヒアリング〉

2/18 包括支援センターと打合せ（由木東にて）

4/16 上記に加え、自治会の遠藤さん（同上）

4/30 ワーカーヒヤリング（支援センターにて）

〈活動〉 7/2・9/3

ワーカー：児島康生さん・中村雄三さん

■ 取り組み

ヒヤリングで垣間見えた自治会窓口の熱情が自治会全体のニーズと合致しているかの住民アンケート調査を提案し、所期スコープに拘らないsaiteを自力で構築へ。

■ 効果

当初予定したfacebookグループsiteではなく、自治会内部で、google_siteを立ち上げることで取りあえず終了したことについて、「まだ道半ばではありますが、とりあえず自治会の情報発信の方向性が見えてきたこそが、今回の大きな成果かと

■ 特記事項

この案件は高齢者あんしん相談センター由木東と連携したもので、福祉部署との連携の2例目となりました。初期に設定したスコープとはやや異なる結末になりましたが、一部の幹部の思いだけで突っ走ることを回避し、団体内部でしっかりとした検討を重ねて頂けた点は、一定の成果と受け止めています。

4. コミュニケーションに対するニーズ

- A) 自治会員以外はh公開とする
 - ・自治会限定にしておくことで、内部事情に関するコミュニケーションもできるようにする
 - ・“多摩陽光台自治会”という自治会や住民に関わる情報が悪用されるリスクを避ける。
- B) 投稿は自治会員であれば誰でも行える。
 - ・当初は役員会の投稿が主体になるが、ゆくゆくは自治会員同士の情報共有や意見交換にも活用していきたい
- C) 想定する投稿内容の例
 - ・役員会からのお知らせ（集会所・環境・防犯・防災・福祉）
 - ・自治会イベントに関するお知らせ（一斉清掃・餅つき大会など）
 - ・サークル活動
 - ・自治体からのお知らせへのリンク
- D) これまでの議論に出てきた以下の可能性の検討は本企画のスコープ外とする
 - ・多摩陽光台自治会の魅力を発信することで新たな自治会員の獲得に繋げること
 - ・自治会内部の文書を一括管理し、インターネット経由で見られるようにする。

プロボノにおける議論で実施されたアンケートを基に、自治会内での方針



自治会内にとどまらず、プロボノ活動中も熱心な議論が続きました